

世界が激動する今だからこそ 個人の質が問われている。 大学で「学び直し」しませんか？



甲南大学では、2021年4月、リカレント教育プログラムの開講に向けて準備を進めています。生涯にわたり充実した人生を送るための一助となるリカレント教育プログラムについて、同センター所長渡辺顕修教授が解説します。



リカレント教育センター所長
わたなべ ぎしゅう
教授 渡辺 顕修



「新知識ノ吸収ハ一生ヲ通ジテ
一日モ怠ルベカラザルモノ」
学び直しも甲南大学で

見出しは甲南学園創立者平生汎三郎の1923(大正12)年3月14日の日記の一節ですが、「人生100年時代」を迎え、生涯にわたり社会で活躍する人生を送るため、政府は大学での「リカレント教育」の推進を図っています。リカレント教育とは、社会へ出てからも変化する時代に即した知識やスキルを学び、それを仕事や社会に還元していく「社会人の学び直し」を意味します。

平生汎三郎は、「人生三分論」という哲学をもっていました。人生を「教育を受ける時代」、「自立の時代」、「社会奉仕の時代」の三期に分け、第一期には最善最良の教育を受け、第二期にはその学びを生かして各自が社会の中で自立を図り、第三期では蓄積した力を広く社会に還元し奉仕すべし、という考えです。



同窓生のみなさんの
エネルギーをぜひお借りして
キャンパスをより重層的な
学び合いの場として活性化したい

担当教員やプログラムと一緒に学ぶ仲間と話し合いながら学びを深めていただきます。(※)
さまざまな世代が継続して集い、お互いの得意分野の知識を交換し合う、「甲南の絆」を新たに作る場として大切にしていきたいと考えています。

※受講申込は1月に受付を開始します。
※新型コロナウイルス感染症防止のため、
授業形態が変更になることがあります。

就業中の方、再就職をめざす主婦の方、リタイアし「ネクスト・キャリア」をお考えの方、お子さんが成長して時間に余裕ができた方など、さまざまなお立場の方。いろいろな世代の方がもう一度現役学生が通う教室に座り、一緒になって、基礎から「学び直し」を試してみませんか。学生のときには見逃した大切なものが今だから心に染み通る、そんな経験をぜひ甲南のキャンパスで体験してください。基本を学び直すことが、キャリアアップや新たなフィールドへのチャレンジのきっかけとなります。これが平生フィロソフィーのめざすところなのです。

さらに将来は甲南大学ならではの「ビジネスに強い甲南」コース(仮称)の開設も視野に入れていきます。企業・自治体・地域を学ぶ科目を配置する夜間に学べるコース、そんなことも考え合わせながら甲南大学は、社会人の「学び直し」を企画します。

「人生100年時代の学び」4つのコース

01 大人の自己探求 (人文科学系)

さまざまなテーマの問答を素材とした対話で得られる気づきから、自己理解を深めます。その対話の素材になりうる美学・哲学・思想史に触れ、人間関係に関する心理的な知識を学び直し、自らの体験を振り返る糸口にします。同時に個人の変革・成長のマネジメントやリーダーシップの学習を通じて、振り返りを行動に結びつける実践マネジメントも学びます。最終的には、多彩な受講生相互の真摯な対話から人生という物語に埋もれている信念や価値や美意識を再確認し、人生を刺激する、新しい意味や意義を体得します。

キーワード 哲学、倫理学、現代思想、芸術と社会、認知科学

02 ネクスト・キャリアをどう生きるか (社会科学系)

定年を迎えた後の働き方、その後の生活の資金をいかに確保しておくか、さらに、生きがいや地域社会とのつながり方など、充実したライフ・プランをさまざまなポイントから考えます。そのため、生きがいを得られる資産形成や、ネクスト・キャリアの資産を確保するための保険や社会保障の仕組みについて、また、保有資産を次世代に託すため、贈与や相続について税金も含め考えます。このように多様な視点を養うために人生100年時代のキャリア形成を目的としてデザインされたプログラムです。

キーワード 社会とファイナンス、福祉と経済、社会生活と法

03 情報社会のしくみを知り、安全に暮らす (自然科学系)

インターネットを利用した電子メールやWWWは生活に不可欠です。重要なのは、これらを使いこなせるだけでなく、安全に使うことです。そのためには情報社会やそこで使われる技術を理解する必要があります。このプログラムでは、情報社会の仕組みや経緯とその安全な利用の基本的な考え方を学ぶことができます。また実践的なセキュリティインシデントへの対応方法や汎用的なデータの処理方法を身につけることもできます。さらにこのプログラムでの学習内容は情報処理技術者試験の資格取得にも役立ちます。

キーワード 情報社会のセキュリティ、ICTセキュリティ、情報通信テクノロジー

04 多文化共生、グローバル社会で生きる (多文化・国際系)

グローバル化で多様に変化する社会を理解し、どのようなアプローチで物事を見るべきかを考えます。日本国内での異文化受容や、日本と世界でどのような違いがあるかを文化面・社会面・法律や政策面など多角的に学びます。具体的には、法・政治・文化を国内での変化や世界の地理的条件・福祉システム・歴史・宗教観・文化・社会構成とともに理解し、日常生活・海外旅行・ビジネス展開・国際交流・海外ボランティアにどのように取り組めるのかをグローバルとグローバルの双方から明らかにします。

キーワード 国際関係論、グローバリゼーションと文化、世界の中の日本

へ還元し奉仕すべし、という考えです。本学は第一期の「教育を受ける時代」、すなわち新しく学ぶ世代の教育に力を注いできましたが、学園創立100周年を機に、まず、第三期にあたる社会人のための「人生100年時代の学び」プログラムを開講し、引き続き第二期で活躍する社会人のためのプログラムを準備します。

社会人の学びの場としては、すでに「科目等履修生」や「聴講生」があります。本プログラムはそれらとは異なり、テーマをもって一定時間学ぶことで、コース修了後に「履修証明」(※)が付与されます。これは転職や再就職の際、履歴書の学歴欄に記載でき、プログラムの修了が、社会で活躍する次への出発点となるのです。

※本プログラムは学校教育法に定められた「履修証明制度」に対応しています。



平生フィロソフィーのもと
世代を超えたつながりを
育てていきたい

「人生100年時代の学び」プログラムは、時間にゆとりのある方々を対象として、昼間の授業に参加する4つのコースで構成されます。①大人の自己探求(人文科学系)コース、②ネクスト・キャリアをどう生きるか(社会科学系)コース、③情報社会のしくみを知り、安全に暮らす(自然科学系)コース、④多文化共生、グローバル社会で生きる(多文化・国際系)コースです。

本プログラムは「講義」と「ワークショップ」で構成されます。講義科目は大学生とともに学びます。本学ではリカレント教育においても、平生の「人物教育率先」という教育理念に基づき、大学生と同じ教室で学ぶことで生まれる、世代を超えた交流を大切にします。

ワークショップではゼミのように、所属コースごとに

プログラム内容、履修料などの募集要項の詳細は
リカレント教育センターWebサイトをご覧ください。
<https://www.konan-u.ac.jp/education/recurrent/>



全学教育推進機構事務室
お問い合わせ Email: recurrent@adm.konan-u.ac.jp
TEL: 078-435-2598